

## 会山行山スキー報告

山域：御嶽山

人：L迫（単独）

日時：2006年4月15日（日帰り）

行程：御嶽ロープウェイスキー場（ゴンドラ駅） 御嶽山 御嶽ロープウェイスキー場

目的：国内3000m峰の登頂

国内の3000m峰も、御嶽山を含めあと4つとなった。

今年中の完登を目指して、まずは、御嶽山を滑り降りることを考えていた。

ゴンドラを使うので、ちょっとズルイとは思いますが、残雪期なので、ヨシとしよう・・・

天気は、土曜日から崩れ始めるようなので、土曜日中においてくる予定。

晴れるようであれば、上の小屋付近でテン泊も考えていたが止めた。

4 / 1 4（金曜日）

早めに仕事を切り上げてゆっくりするつもりが、つまらんことで、19時過ぎてしまった。

一眠りして、0時起床、

0 : 5 0 アパート出発

東名経由か、長野自動車道経由か、途中で降りて一般道か、迷ったが、夜中なので、それなりにスピードは出せると思って佐久から一般道を選んだ。

佐久 IC=>R142=>(新和田トンネル)>R20=>R19(元橋)右折=>県道20=>御嶽ロープウェイスキー場

3 : 0 0 佐久 IC

4 : 3 5 塩尻 ICの前通過

R20の終点を經由してR19へ。

5 : 1 5 R19から県道20への入口、元橋を右折

5 : 5 0 御嶽ロープウェイスキー場駐車場着

山はまだ晴れていて山頂まで見える。今がチャンスと思うがロープウェイは8 : 3 0 から。しばらく車内で仮眠する。が、気が高ぶって眠れない。

御嶽ロープウェイスキー場への道中から  
見た御嶽山と登ったルート



8 : 3 0 身支度してロープウェイ乗り場へ。片道1300円ちょっと高い。

ロープウェイ山麓駅の標高1571m

ロープウェイ山頂駅の標高2150m

この頃には、山頂付近は雲の中である。

ロープウェイを降りたら直ぐにシール登高なので、ザックからシールを取り出す。。。。

え！シールが、無い・・・まさに目が点である。そういえば、アパートで板にシールを貼り付けておこうと思ってザックから出して・・・ア”！イスの上だ。

痛い、これはとんでもない忘れ物をしてしまった。宇都宮まで取りに帰るわけにも行かないし、レンタルがあるわけでもない。ひと時悩むが、以前山スキーの本でロープを巻きつけてシールの代わりにするのを読んだのを思い出した。取り合えずそれを試してみ、登れるところまで登ってみよう。と言うことで、ロープ（7mm）を取り出した。

（先日のハンター主催のロープ講習で6mmは使えんので、7mmという話があり、緊急用具として7mmに替えておいたのが良かった。6mmではシールとしては利かなかったかもしれない）

8 : 4 5

ロープウェイを降りてすぐさまロープを巻きにかかる、そんなに難しいことではなく、1stバージョンは直ぐに（15分）位で準備完了。（ロープシールは最後に添付参照）折角ロープウェイは2番ゴンドラだったのに、かなり遅れてしまった。

（山スキー屋では1番だったのに・・・）

10人位が山に入る準備をしている。

9 : 0 5

ゴンドラ駅舎を降りて目の前の土手を山に向かって右手から登り始めるが、直ぐにロープシールが利かないことが分かった。

よく眺め、よく考える。と、巻き方が逆であることに気が付いた。

直ぐに巻きなおす。その間にも、他の山スキーヤーが登って行く。

が、なぜか、特にあせることも無く落ち着いていた。（なぜか分からん）

ロープシールを巻き直して再挑戦。

お！なかなかいいじゃないですか。一步一步確実に踏み込んで荷重していかないとズルッといくが意識して歩けばそれなりに登れることが分かった。

弱点（その1）としては、ロープの分重い。しかも、ロープを水を吸い込むのでなおさら重い。しかも、（その2）通常のシールは一方通行なのに対して、FORWARDSTEPでも抵抗があるので、摺足が出来ない。

ま、歩けないよりまし。なるべく斜度のゆるいルートを選びつつ歩くことにした。

初めの林間部は、滑るにはちょっと狭いかな。って感じだけど、滑れないこともなさそうだ。

やがて森林限界を超えて、視界が良くなるが、斜度がきつくなる、ここで、ロープシールにロープを追加して2ndバージョンとする。おおお！感動！こんなロープシールで結構登れる。皆が「そんなシールで利くの？」とか、「何が登った跡なのかと思った」とか話し掛けられた。確かに、こんなので登る人はいないから、不思議がるのも当然で、「一応ここまでは登れました」とか、「いや～シール忘れちゃって」と答えておいた。

でも、この先アイスバーンになったらお手上げだろうなと考えつつひたすら登る。

10 : 20 金剛堂 alt = 2470m

一本とる。なにやら白いものが降ってきた、休んでいると体が冷えてくる、歩くと暑いので休む時だけジャケットを羽織る。

雪も安定していて、雪崩れる様子もないので、左手に夏道を見つつ、滑走ルートをそのまま直登する。前後を見ると、御嶽ロープウェイから登る人は、約30人位のように、抜きつ抜かれつ登って行く。

2550m位からは雲の中である。これより下は視界があるが、その上は全く見えない。

しかし下りで間違えそうなのが、この辺で、他のレポートにも、間違えて上り返した報告があったので下る方向を磁石と地形で覚えておく。

雲の中に入り、石室までの登りが辛い。

石室手前が急斜面でロープシールでは辛い。斜めにつづら折りで登ろうとするが、ロープシールが利かない。弱点（その3）ロープシールでは斜登高が出来ない。雪上車や、戦車のキャタピラが横方向には滑ることと一緒である。きつい、ズルズルと何度もズレながらやっとの思いで石室到着。

12 : 00 石室 alt = 2830m 一本とる。

寒い、6.3 だった。手前の急斜面あたりからお腹が空いてきてたので、腹ごなしをする。視界は悪い、視程30m位か。

ここからは、ジャケットを着込み、板を脱いでつぼ足で登る。先にシールで登った人も諦めてつぼ足に変えていた。と言うことは、ロープシールでほとんどシールと同じに登れたわけである。なかなか素晴らしい。ロープシール。アイスバーンでなくて良かった。

つぼ足（アイゼンなし）で歩き始めるが、やはりきつい登りである、ここまでロープシールで来たため、結構疲れていた。

12 : 30 覚明堂 石室からは目の前に見えるだが、結構潜ったりして時間がかかってしまった。ここで、アイゼンをつける。

山スキーブーツにアイゼンをつけるのは初めて（部屋では試したが）なので、チョット不安だったが、ガッチリ締めることが出来たようだ。

13 : 15 御嶽山 山頂到着

alt = 3067m、気温 3.9、  
風あり冷たい。

目標の一つがクリアできた、後は、3つ残すだけ。

展望は全くなし。既に10人位がいたが、自分は写真を撮り、直ぐ下にある小屋の影に入って休んだ。食べて、飲んで、荷物を軽くする。

しっかり利いてくれていたロープシールの写真を撮ってから外す。

これで自分的には、シールが無くてもある程度は登れる自信がついた。

（繰り返したくはないが。。。）

13 : 45 滑走開始

が、下りは早い、覚明堂手前がチョット狭く、雪質も少し硬くなっている。また、強風のため雪面が波打っているが、視界が悪くてよく見えない。

とはいえ、5分とかからず、石室到着。。。途中ででこぼっているテレマーカー2人を抜いてしまったが、直ぐに見えなくなった。

石室で折り返すと言っていたテレマーカーのパーティ（8人位）は既にもいない。

登ってきたルートを確認して再度スタートする。

しかし、全く見えない、滑っていると上下感覚、水平感覚がなくなってくる、怖い

いわゆる空間識失調ってやつか。。。飛行機なら計器があるけど、スキーでは滑る感覚しか無いから怖くなり、また目も回ってくるので、何度か止る。

ルートもよく見えず、わからないし、他に滑る人も見えない。かすかに右手に夏道が見えるだけ。しかし、これが本当に夏道なのかも不安である。

雲下限がさっきより下がっているようだ、高度計見ても既に雲の下に出ているもおかしくない高度である。。。しばらくゆっくり下ると、見覚えのあるハイマツ帯が現れ、右手に金剛堂が霞んで見える。これでルートは間違いないことが判明し、ここからは気合を入れなおして、林間へ突っ込んでいく。楽しい、この林の木々を縫って交わして滑る感覚がまた山スキーの楽しみでもある。しかし、あっという間に金剛堂の高度を通過してしまった。

さらに、石室から折り返したテレマーカーパーティが樹林帯を滑っている声が聞こえる。

自分も樹林帯の中を快調に滑る。木々の間を抜け、枝をくぐり。。。と、『バキッ』と背中物音がした。止って振り返ると枝が飛散している。んん！？ あゝ！ ザックにつけていたピッケルが引かかったようだ、ピッケルをザックに止めていたバンドが引きちぎれていたが、辛うじて、下のループにピッケルがぶら下がっていた。（先日から、バックルが無くなっていたので別のものを縫い付けていたのだが、それが引きちぎれた、やはり手縫いでは弱かったか。。。）危ない危ない、よく後にひっくり返らなかったと思う。（逆にバンドが引きちぎれたからひっくり返らずに済んだと思う）ピッケルをザック内に納めて滑り始める。

しかし、直ぐにゲレンデ最上部に出ってしまった。ここで先ほどのテレマーカーパーティに追いついてしまった。



14 : 15 ゴンドラ山頂駅

そのままあとは、ゲレンデを滑り降りるだけだ。

ゴンドラから見えていたコブ斜面を避けるようにしてルートを下った。

14 : 23 ゴンドラ山麓駅着

あっと言う間についてしまった。

恐らく、山スキーで入った人の中で一番早かったと思う。

登り(ゴンドラまで)も一番、下りも一番。。。。

もう少し楽しく滑りたかった。視界が悪すぎる。。

ま、とりあえず怪我もなく、無事下山できました。

一息ついて、着替えて、お店で買い物して、温泉を聞く。

下ったところに、木曾温泉があると言うのでいくことにした。

14 : 55 駐車場発

あまり早く温泉に入ってしまうと運転が辛くなると思ったが、眠くなったら停めて寝ちゃえと思ひ直し、ゆっくり入ると決めた。

鉄泉でお湯が茶色い。露天は丸い釜風呂が二つ。一つは肩まで入るには小さい。

その後、車を走らせ、R19の手前の蕎麦屋で食す。1400でチョット高いが、美味かった。

1人前なのに、2枚出てきてビックリ。「天ざる」美味し。

帰りは、塩尻ICから高速にのってしまうことにした、下道では疲れるし、仮眠するにしてもSA, PAならば色々便利だから。

東部湯の丸で40分位仮眠して、頭すっきりで帰途につく。

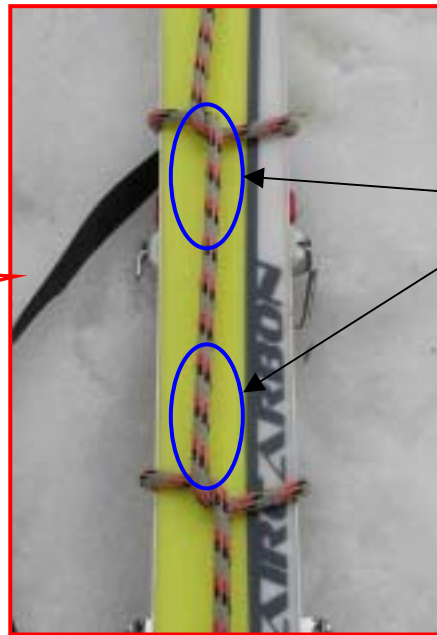
21 : 16 アパート着。 走行距離：693km

往路は5時間

復路は6時間15分・・・温泉入って、蕎麦食べて、仮眠したのに・・・

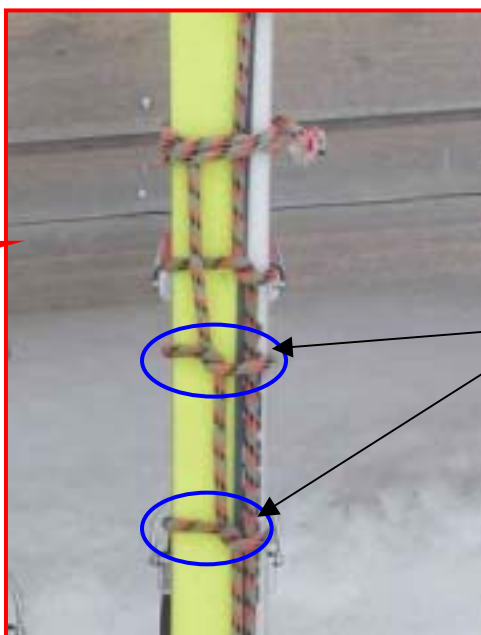
距離的には遠回りなのに、高速の方が早かった？！

以上 お疲れ様でした。あと3つ頑張ろう！（次頁にロープシール参照）



横にはかかるが、  
縦に止らない

↑ 1stバージョン  
ロープの通す向きが下から表へ。



縦にはかかるが、  
横に止らない

↓ finalバージョン  
ロープの通す向きが表から下へ。



板のトップの固定方法  
穴を通してコブを作るだけ。